

このたびはD型スピーカースイッチユニットをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。この取扱説明書はお読みにになりましたら大切に保管し、後日わからないことがあれば再びご覧ください。

- 本機はユニペックスラックシステム組込用のダイレクト制御型一斉付10回線のスピーカースイッチユニットで、直接スピーカ回線の切換えを行いません。
- 本機は1台増設することができます。
- 本機には外部制御入力端子に6つの機能が設定されています。(チャイム放送、一斉リモコン、ページング用など)
- ラックの組込み方法は、EIAサイズラックの取扱説明書をご覧ください。
- 本機の標準的な組合わせに対応した別売の各種接続用コードがあります。

目次

安全上のご注意	2~3
使用上のご注意	3
各部の名称と説明(前面)	4
各部の名称と説明(後面)	5
本機の動作(出荷時の設定)	6
各種の機能	7
各機能の設定のしかた	8
外部制御の機能の設定	9
一斉スイッチの機能の変更	9
ページング設定の実際例	10
増設	10
接続例 ラック形業務用放送設備との接続例 D型	11~12
外線接続ユニット RIJ-3091への取付方法(外線接続用コード*端子)	13
端子表(20回線仕様)	14
端子表(記載用)	15~16
定格	17
外観寸法図	17
サポートのご案内	20
保証書	20

安全上のご注意

必ずお守りください

- ご使用前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例



△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音がある、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。



プラグをコンセントから抜く

分解／改造はしない

火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。



異物を入れない／濡らさない

水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。ただちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。(雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。)



通風孔をふさがない

通風孔をふさぐ、ものをのせたり通風を悪くすると内部に熱がこもり火災の原因となります。



電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、ねじったり、引張ったりすると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)販売店などに交換をご依頼ください。



表示された電源電圧以外の電圧で使用しない

火災・感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、接続コードや電源プラグには触れない

感電の原因となります。



ラックにマウントする際は説明に従って付属の金具を正しく使用し、固定してください。取付けに不備があると落下したりしてけがの原因となります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。



不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。	
工事は工事店に依頼する 工事には、技術と経験が必要です。火災・感電、けが、器物損壊の原因となります。工事店にご相談ください。	
異常に温度が高くなる場所に放置しない 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。	
長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く 火災の原因となることがあります。	  プラグをコンセントから抜く
お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く 感電の原因となることがあります。	 プラグをコンセントから抜く
電源を入れる前には音量を最小にする 突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。	
電源コード、スピーカーコードを熱器具に近づけない コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。	
長時間音が歪んだ状態で使わない スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。	
電源プラグは根元まで確実に差し込む 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。	
移動するときは、コード類を傷つけない 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。	 プラグをコンセントから抜く
この機器に乗ったり腰掛けたりしない 特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。	
オーディオ機器、外部スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。	
1年に一度くらいは内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。	

使用上のご注意

- 外部より制御する場合には、必ずダイオードマトリックスにダイオードを組込んでください。
- 本機は、R型スピーカースイッチユニットRIS-R101A、出力リレーユニットRIU-2301Aと接続することはできません。
- 各回線の定格容量を超えない範囲でご使用ください。
- 付属の機器受金具は必ず使用してください。

端子表 (15~16ページ) に端子接続を記載して保管してください。接続の変更時は、必ず端子表も合わせて変更してください。

各部の名称と説明(前面)

回線別表示部

それぞれ設定された回線場所を記入してください。

ラック取付穴

付属のねじでラックに取付けてください。

使用中表示部

設定されたものを記入してください。

回線別選択スイッチ

(1~5回線)

それぞれ必要回線を押してください。再び押しま
すと切れます。

使用中表示灯(赤)

リモコンなど、外部より本ラックを制御したとき
に、それぞれ表示灯を点灯させることができます。
(使用表示灯の点灯のしかたの項を参照)

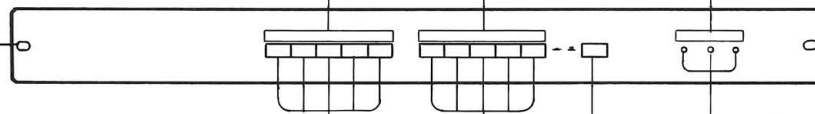
回線別選択スイッチ

(6~10回線)

それぞれ必要回線を押してください。再び押しま
すと切れます。

一斉スイッチ(オール)

このスイッチを押すことにより、回線別選択スイ
ッチに関係なく全回線が動作します。再び押しま
すと切れます。



各部の名称と説明(後面)

各ユニットとの接続方法については、RUX-3210の取扱説明書をご参照ください。

JC5 制御用コネクタ

(ミキサーユニット用)
ミキサーユニットRUX-3210
と接続します。

JC4 制御用コネクタ

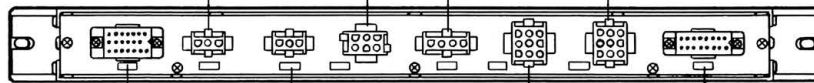
(AC電源制御ユニット用)
AC電源制御ユニットRIP-2A31またはRIP-2A51
の制御用コネクタ (D型スピーカスイッチユニット
用)と接続します。

JC7 PA入力用コネクタ

(電力増幅ユニット用)
電力増幅ユニットRIA-3241またはRIA-2121等と
接続します。

JC2 制御用コネクタ

(外線接続ユニット用)
外部からの制御信号入力用コネクタです。



JC8 スピーカ回線出力用コネクタ

(外線接続ユニット用)
外部スピーカ回線と接続します。

JC1 制御用コネクタ

(予備)

JC6 PA入力用コネクタ

(電力増幅ユニット用)
電力増幅ユニットRIA-3241またはRIA-2121等
と接続します。

JC3 制御用コネクタ

(増設スイッチユニット用)
本機をもう1台増設される場合に
接続します。

注) コネクタ付近の三角マークはコネクタの1番ピンの表示です

本機の動作（出荷時の設定）

① 特徴

本機はスピーカ回線を直接、入・切するダイレクト方式のスイッチユニットです。一斉スイッチは一斉放送から、一斉緊急放送に変更できます。入・出力を2グループに分ける事が出来、外部からの制御もできます。（一斉または一斉緊急動作に限る）また、使用中表示をすることができます。外部制御入力には一斉リモコン、ペーシング、チャイム放送用など設定しています。

② 回線別選択スイッチ・一斉スイッチ

- 回線別選択スイッチ : 1～10各回線の入・切をおこなう。
- 一斉スイッチ : 1～10一斉に入・切をおこなう。
(20回線に増設の場合には、1～20の一斉入・切がおこなえます。)
- 各回線の制御容量 : 回線 (1～10)、1回線 100W (1A)、10回線合計 1kW (10A) 一斉緊急動作時

③ PA入力

2入力並列です。100Vラインあるいは70Vラインでご使用ください。

④ 制御入出力

- 外部制御入力 6回路(無電圧メーク接点)
- 一斉起動(AUユニット)入力 1回路(無電圧メーク接点)
- 本体使用中表示出力 1回路(トランジスタ出力 DC35V 50mA)
出荷時にあらかじめ動作を設定しております。(8ページ)

⑤ 本機の接続

各部の名称と説明の項のとおり、各コネクタを指定されたユニットのコネクタに接続してください。別売の接続用コードをお使いいただきますと簡単に接続できます。なお、標準的な組合せでない場合、あるいは別売のコードをご使用にならない場合は、別途ご手配ください。

注) 本機はコネクタ-JC4をAC電源制御ユニットRIP-2A31またはRIP-2A51に接続されていない場合は動作しません。

⑥ 出荷時の設定 [制御端子]

・TB-1 1A	チャイム制御 (CH)	一斉放送 (AUユニット)	使用中: 表示灯A 点灯)
・TB-1 1B	外部制御	一斉放送 (フェーダー制御C)	使用中: 表示灯B 点灯)
・TB-1 1C	外部制御	一斉放送 (フェーダー制御B・C)	使用中: 表示灯C 点灯)
・TB-1 2A	外部制御	一斉放送	
・TB-1 2B	外部制御	一斉緊急放送	
・TB-1 3A	電源起動入力1 (Rp)	電源起動	

※ (注) この項において、一斉放送・一斉緊急放送の一斉とは回線1～10一斉です。

各種の機能

① スピーカ回線スイッチの増設

本機を1台増設して20回線にすることができます。

② 一斉スイッチ

●一斉放送から一斉緊急放送に変更ができます。(9ページ) (① 一斉放送を一斉緊急放送に変更する方法)

●割込放送スイッチに変更できます。(9ページ) (② 一斉放送を割込放送に変更する方法)

割込放送とは、その他の入力信号に優先して特定の入力(ミキサーユニットのA入力)のみ、一斉緊急放送する機能です。音量は、ミキサーユニットで個別に設定できます。電源起動も別に操作する必要なくおこなえます。(DM基板上のダイオードの設定変更により、一斉放送とすることもできます。)

③ 外部制御ができます。

チャイムやリモコン、ページング等に使用にします。放送パターン、信号入力回路の選択を設定できます。(9ページ) あらかじめ出荷時に設定されている部分もあります。(6ページ ⑥) (ダイオード取付けによる)

④ 外部制御機器の使用中表示ができます。

A、B、C 3灯で、Aは一斉起動制御(AUユニット)入りに設定済です。Bはフェーダー制御C(A、B入力)信号入りに設定済です。Cはフェーダー制御B・C(A入力)信号入りに設定済です。

⑤ リモコン等、外部機器を接続使用の場合は、本ラックを使用しているときの使用中表示信号を送り出すことができます。

トランジスタ出力 DC35V 50mA (定格内でご使用下さい。)

本ラック動作時 ON (出力信号ローレベル)

非動作時 OFF (出力信号 ハイレベル)

各機能の設定のしかた

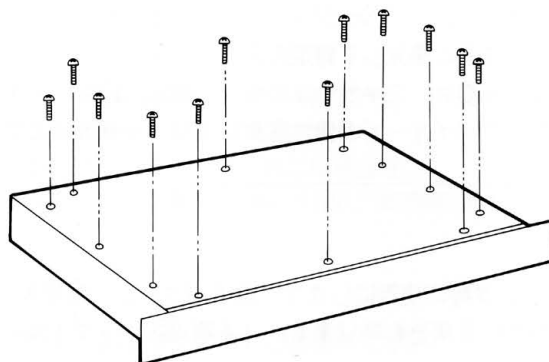
本機内部のダイオードマトリクス基板PK-RD101DM(DM基板)に、ダイオードを必要な数量を取り付けることで設定できます。(製品を見ながらお読みください)

注) ダイオードは定格100V 1A以上のものをご使用ください。

① 本機のふたのはずしかた

上ふたを止めているねじ12本をはずし、上ふたを取り外してください。(図1参照)

図1

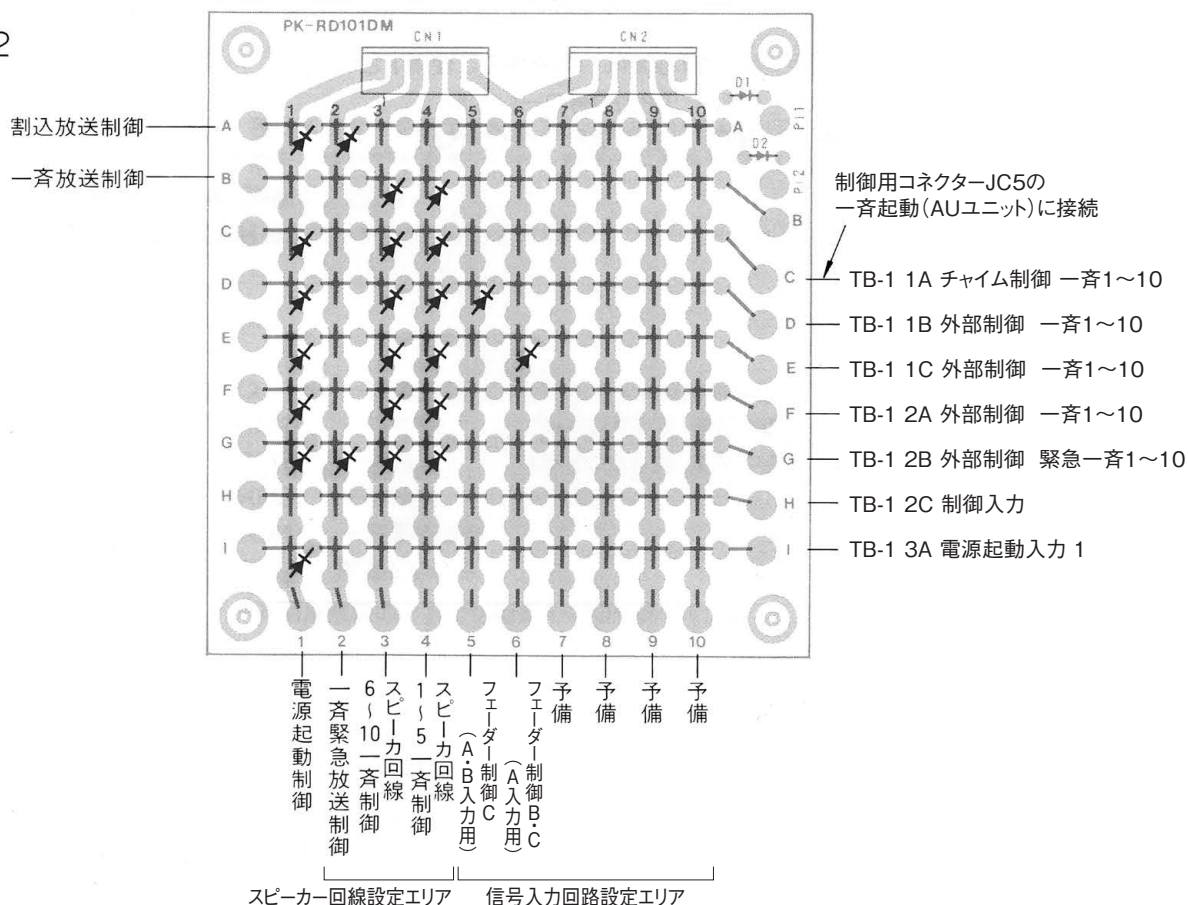


② DM基板の説明 (PK-RD101DM)

基板には、A~Iのパー(行といいます)と、1~10のパー(列といいます)が裏表に直交しています。(A~I、1~10の記号はDM基板に印刷されています。)

その交点に1~10列から、A~I行のほうに電流が流れる方向(印刷の向きに合わせて)にダイオードを取付けます。(あらかじめ、取けられているダイオードにならって、はんだ付けをしてください。1~10列は、そのパーに1つずつ機能を持ちA~I行は、そのパーに各々制御信号が入ります。(図2参照)

図2



注1)図の✕マークは、製品に付けられているダイオードで、出荷時に設定された動作をするために必要なものです。

注2)図中の一斉起動(AUユニット)、フェーダー制御B・C、フェーダー制御Cは、同名のミキサーユニットの制御用端子に対応しています。

外部制御の機能の設定〈設定の手順〉

DM基板の説明をご覧くださいながら、次の順序でダイオードを取付ける場所を決定し、ハンダ付けをしてください。外部制御入力6回路を各々どのように使用するかは、あらかじめ決めておいてください。

① 外部制御信号を接続する端子を決定します。

TB-1の1B、1C、2A、2B、2C、3Aのうち、1つです。端子が決まりますと、DM基板の行が決まります。(D~Iのいずれかです) A、B、Cの各行は別の用途に使用されています。

② 電源起動制御(Rp)を設定します。

この機能は本体ラックの電源を入にする機能です。この機能を持つバーは1列です。①で決定された制御入力の行と、1列との交点にダイオードを付けます。

③ フェーダー制御を設定します。

この機能はフェーダーを制御する機能です。この機能を持つバーは信号入力回路設定エリア(5~10列)のうち、5、6列です。5、6列のうち、どちらかと①で決めた行との交点にダイオードを付けます。フェーダーを外部制御しない場合は、この項の設定はいりません。

④ 放送回線の設定

この機能は放送したいスピーカ回線を選択する機能です。この機能を持つバーは、スピーカ回線設定エリア(2~4列)です。このうち必要な列と①で決めた行との交点にダイオードを付けます。この設定のみ複数個のダイオードを付けることができます。パターンは次の4種類より選べます。

- ア) スピーカ回線1~5一斉放送 (4列)
- イ) スピーカ回線6~10一斉放送 (3列)
- ウ) スピーカ回線1~10一斉放送 (3、4列両方)
- エ) スピーカ回線1~10一斉緊急放送(2列)

⑤ 使用中表示灯の点灯の設定

本機においては、表示灯A、B、Cは接続された外部制御機器からの制御入力信号(一斉起動制御(AUユニット)、フェーダー制御C、フェーダー制御B・C)にそれぞれ対応して接続されています。③項で信号入力回路を選択することで、B、Cどちらの表示灯が点灯するか決まります。

A. 一斉起動制御(AUユニット) / **B.** フェーダー制御C / **C.** フェーダー制御B・C

※1 Aを点灯したい場合は、一斉起動制御(AUユニット)入力をご使用下さい。

以上、外部制御機器を接続し、本体ラックを制御する場合は、上記①~⑤まで順を追ってダイオードを取付けてください。制御入力信号の数だけ繰り返していただきますと、すべてダイオードの取付位置を決定することができます。

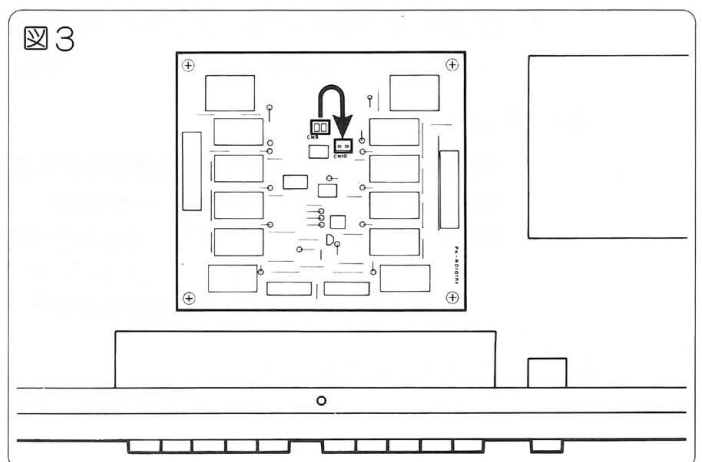
一斉スイッチの機能の変更

① 一斉放送を一斉緊急放送に変更する方法

DM基板(PK-RD101DM)のB行に取付けてあるダイオード2個をはずし、B行と2列(一斉緊急放送制御)との交点にダイオード1個を取付けてください。

② 一斉放送を割込放送に変更する方法

基板PK-RD101RY(一番大きな基板)のCN9(2P青)のコネクタを抜き取り、となりのCN10(2P黒)に差し込んでください。(DM基板上のダイオードは設定取付済です)
(図3参照)

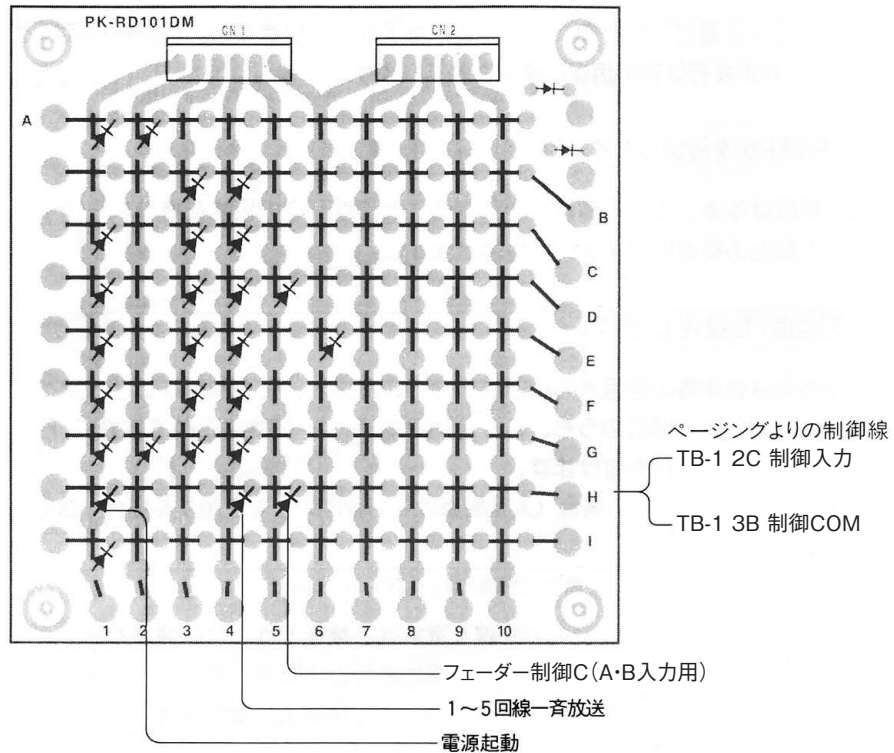


ページング設定の実例例（参考にしてください）

ここでは、H行に設定し、フェーダー制御Cを行うページング放送とし、スイッチユニットの1～5の一斉放送を実例として、ダイオードの取付けを記入しました。使用中表示灯はBが点灯します。（図4参照）

注）ダイオードをハンダ付けするときは40W以下のハンダごてを使用してください。

図4



増設（本機1台を増設して20回線にする場合）

●増設に必要なコード及び接続

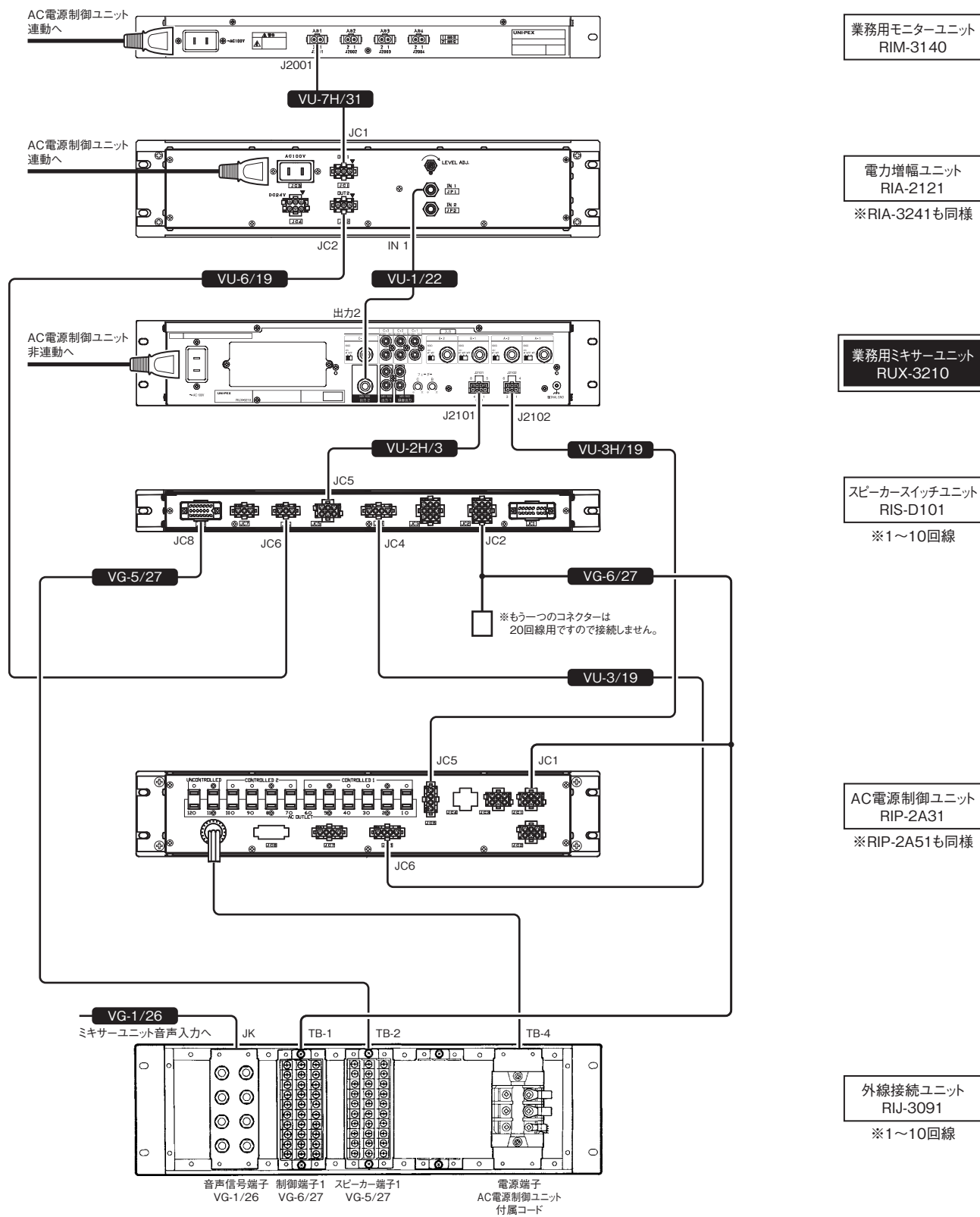
- 1) スピーカ出力
 - ・外線接続用コード VG-5/27 1本
 - ・増設機のJC8に接続
- 2) 制御入力
 - ・元のスイッチユニット（1～10回線用）に接続されている〔VG-6/27〕の空きコネクタ（9P圧着コネクタ）を増設機のJC2に接続。
- 3) スイッチユニット間の制御接続
 - ・ユニット間接続用コードVU-8/1 1本（スイッチユニット間JC3⇔JC3を接続）
 - ・必要な制御信号の伝達がおこなわれます。
- 4) PA入力
 - ・ユニット間接続用コードVU-6/19（VU-6/29・VU-6/8）1本、増設機のPA入力JC6（JC7）へ接続
 - ・増設機に電力増幅ユニットより直接の入力がない場合には、元（1～10回線）のスイッチユニットのJC6（JC7）から、増設機のJC6（JC7）へ接続（12頁の接続図参照）

●一斉スイッチ

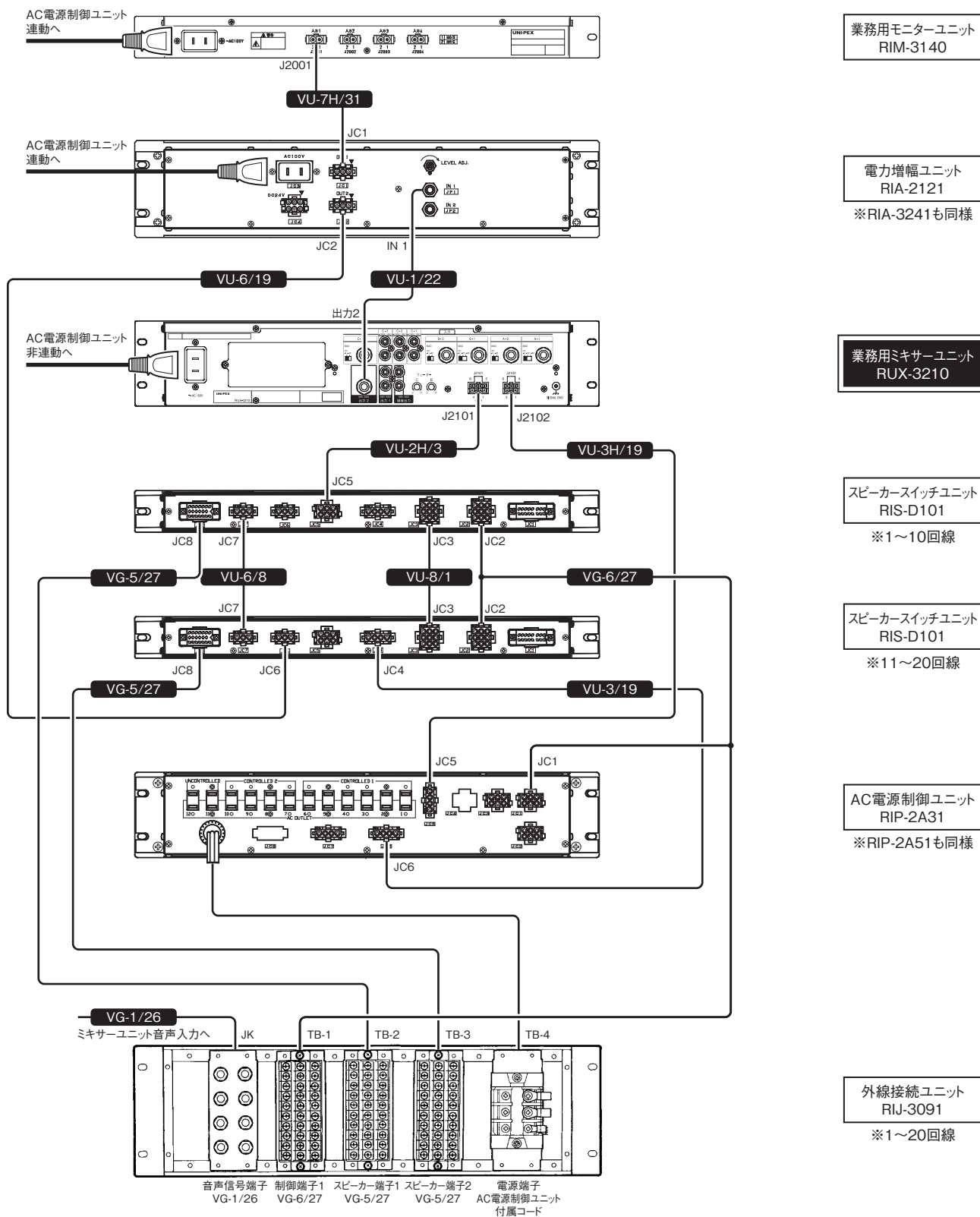
- 増設しますと、一斉スイッチが2個存在することになります。
- ・標準仕様の時、2個共、同機能（一斉放送）
- ・機能をかえて使用するとき下記の組み合わせが可能になります。（改造をしない場合）
 - 一斉放送スイッチと割込放送スイッチ
 - ※一斉放送スイッチと一斉緊急放送スイッチとの組み合わせはできません。

●外部機器使用中表示灯（A, B, C）

- 増設しますと表示灯（A, B, C）が2組存在することになります。
- 表示内容は同じです。（A=A、B=B、C=C）



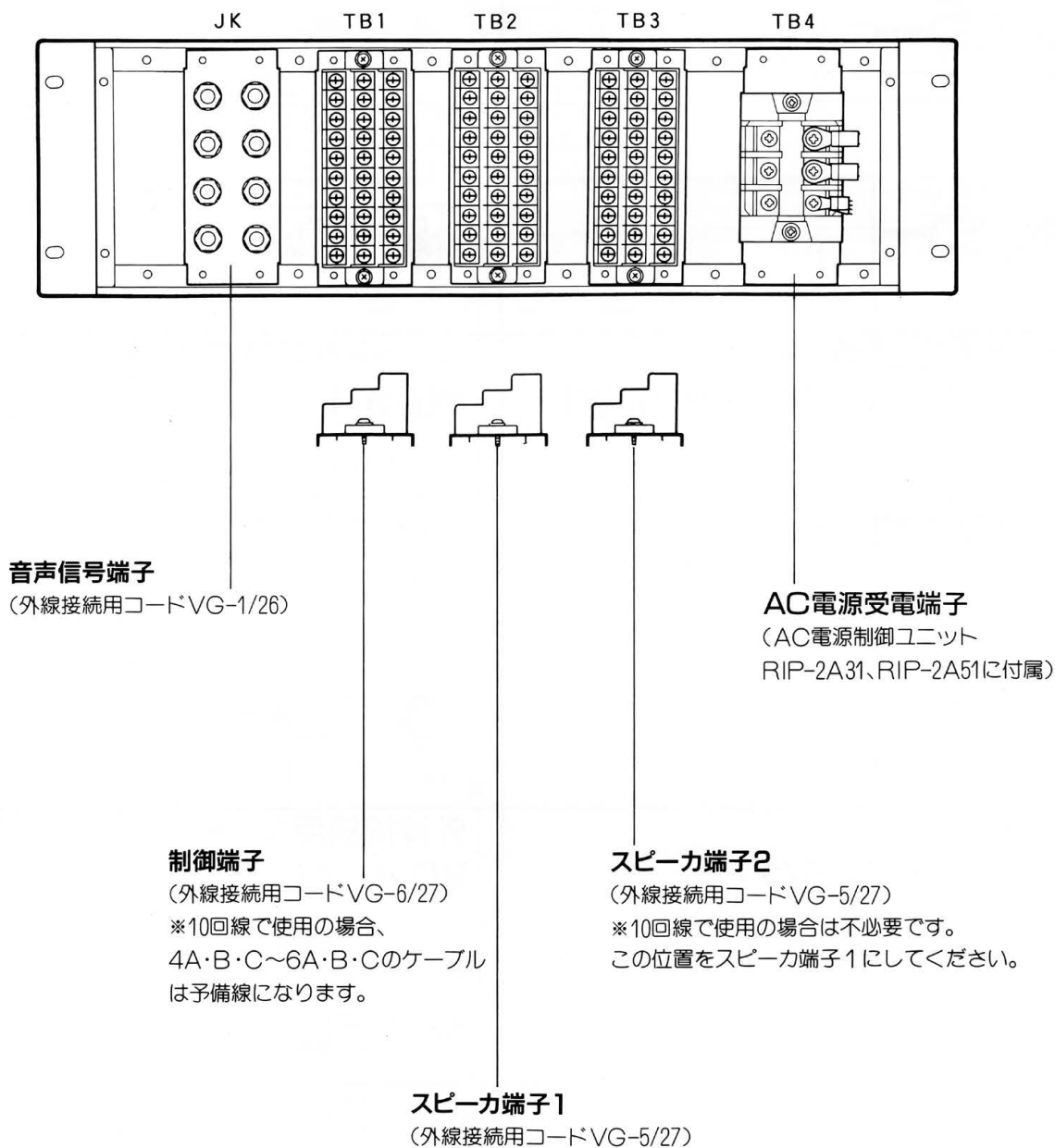
注意 ・接続は必ず電源をOFFにしてから行ってください。
また、その入力のボリュームを最小にしてから接続してください。



外線接続ユニットRIJ-3091への取付方法 (外線接続用コード端子)

○外線接続ユニットRIJ-3091に外線接続用コード端子を取付ける場合は、下記の図のように端子を配置取付けを行なってください。

ラック本体 (正面より)



外線接続ユニットRIJ-3091には、端子表(ノリ付き)が付属しています。
この取扱説明書にある端子表同様に記入し、RIJ-3091のパネル内側に貼りつけるか、ラック近辺に備えつけて下さい。
点検・サービス時に必要です。

端子表

(20回線仕様)

標準コードを用いて13ページのように外線接続ユニットRJ-3091へ取り付けますと、下記の端子配列・機能になります。
 (ユニットの仕様に追加・変更のない場合)
 10回線仕様ときはスピーカー11~20なし、TB-2のスピーカー端子をTB-3の位置へ取り付けてください。

音声信号端子
JK(VG-1/26)

JK-1

JK-2

JK-3

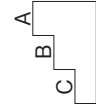
JK-4

JK-5

JK-6

JK-7

JK-8



制御端子1
TB-1 (VG-6/27)

A	チャイム制御 一斉1~10 (CH)
1 B	外部制御 一斉1~10 (フェーダーC)
C	外部制御 一斉1~10 (フェーダーB・C)
A	外部制御 一斉1~10
2 B	外部制御 緊急一斉1~10
C	制御入力 設定なし
A	電源起動手入力 1 (RP)
3 B	制御COM
C	使用中表示出力 1~10 (BUSY)
A	チャイム制御 一斉11~20 (CH)
4 B	外部制御 一斉11~20 (フェーダーC)
C	外部制御 一斉11~20(フェーダーB・C)
A	外部制御 一斉11~20
5 B	外部制御 緊急一斉11~20
C	制御入力 設定なし
A	電源起動手入力 2 (RP)
6 B	制御COM
C	使用中表示出力 11~20(BUSY)
7 A	_____
B	_____
C	_____
8 A	_____
B	_____
C	_____
A	通電表示 (DC24V出力) +
9 B	通電表示 (DC24V出力) -
C	_____
A	非常制御入力 H
10 B	非常制御入力 C
C	_____

スピーカー端子1
TB-2 (VG-5/27)

A	スピーカー 1	N
1 B	スピーカー 2	R
C	スピーカー 3	C
A	スピーカー 4	N
2 B	スピーカー 5	R
C	スピーカー 6	C
A	スピーカー 7	N
3 B	スピーカー 8	R
C	スピーカー 9	C
A	スピーカー 10	N
4 B	スピーカー 11	R
C	スピーカー 12	C
A	スピーカー 13	N
5 B	スピーカー 14	R
C	スピーカー 15	C
A	スピーカー 16	N
6 B	スピーカー 17	R
C	スピーカー 18	C
A	スピーカー 19	N
7 B	スピーカー 20	R
C		C

スピーカー端子2
TB-3 (VG-5/27)

A	スピーカー 11	N
1 B	スピーカー 12	R
C	スピーカー 13	C
A	スピーカー 14	N
2 B	スピーカー 15	R
C	スピーカー 16	C
A	スピーカー 17	N
3 B	スピーカー 18	R
C	スピーカー 19	C
A	スピーカー 20	N
4 B		R
C		C

電源端子
TB-4 (付属コード)

1	AC100V	P1
2	AC100V	P2
3	GND	

10回線仕様時接続なし

端子表 (D型 10回線用)

BNC (VG-7/34)

BNC1

BNC2

BNC3

BNC4

JK (VG-1/26)

JK-1

JK-2

JK-3

JK-4

JK-5

JK-6

JK-7

JK-8

TB-1 (VG-6/27)

1	A	
	B	
	C	
2	A	
	B	
	C	
3	A	
	B	
	C	
4	A	
	B	
	C	
5	A	
	B	
	C	
6	A	
	B	
	C	
7	A	
	B	
	C	
8	A	
	B	
	C	
9	A	
	B	
	C	
10	A	
	B	
	C	

TB-2 (VG-5/27)

1	A		N
	B		R
	C		C
2	A		N
	B		R
	C		C
3	A		N
	B		R
	C		C
4	A		N
	B		R
	C		C
5	A		N
	B		R
	C		C
6	A		N
	B		R
	C		C
7	A		N
	B		R
	C		C
8	A		N
	B		R
	C		C
9	A		N
	B		R
	C		C
10	A		N
	B		R
	C		C

TB-4 (付属)

1	AC100V P1
2	AC100V P2
3	GND

端子表 (D型 20回線用)

BNC (VG-7/34)

BNC1

BNC2

BNC3

BNC4

JK (VG-1/26)

JK-1

JK-2

JK-3

JK-4

JK-5

JK-6

JK-7

JK-8

TB-1 (VG-6/27)

1	A	
	B	
	C	
2	A	
	B	
	C	
3	A	
	B	
	C	
4	A	
	B	
	C	
5	A	
	B	
	C	
6	A	
	B	
	C	
7	A	
	B	
	C	
8	A	
	B	
	C	
9	A	
	B	
	C	
10	A	
	B	
	C	

TB-2 (VG-5/27)

1	A		N
	B		R
	C		C
2	A		N
	B		R
	C		C
3	A		N
	B		R
	C		C
4	A		N
	B		R
	C		C
5	A		N
	B		R
	C		C
6	A		N
	B		R
	C		C
7	A		N
	B		R
	C		C
8	A		N
	B		R
	C		C
9	A		N
	B		R
	C		C
10	A		N
	B		R
	C		C

TB-3 (VG-5/27)

1	A		N
	B		R
	C		C
2	A		N
	B		R
	C		C
3	A		N
	B		R
	C		C
4	A		N
	B		R
	C		C
5	A		N
	B		R
	C		C
6	A		N
	B		R
	C		C
7	A		N
	B		R
	C		C
8	A		N
	B		R
	C		C
9	A		N
	B		R
	C		C
10	A		N
	B		R
	C		C

TB-4 (付属)

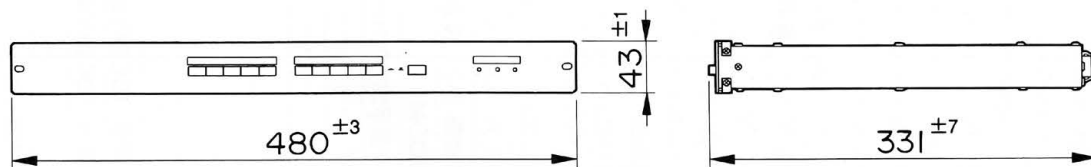
1	AC100V P1
2	AC100V P2
3	GND

定格

使用電源	DC 24V (制御用電源より受電)
消費電流	DC 0.25A (最大消費時の平均)
PA入力	2入力 並列 100Vラインあるいは70Vライン
出力回線	10回線 一斉スイッチ付 回線容量 1回線 100W(1A), 10回線合計 1kW(10A) 一斉緊急動作時
制御入力	外部制御 6 (無電圧メーク接点) ダイオード取付による設定 チャ임制御 1 (無電圧メーク接点) ダイオード取付による設定
制御出力	本体使用中表示 1 (トランジスタ出力・DC35V 50mA, 出力信号ローレベル)
制御用ユニット間接続器	ミキサーユニット用 1 電源制御ユニット用 1 増設スイッチユニット用 1
動作表示	外部制御機器使用中表示灯 (発光ダイオード) 赤 3 (A, B, C)
付帯機能	① 外部機器使用時、使用中表示をすることができる (3台まで) ② スピーカ回線は入出力共、2グループに分割して使用可能。 外部からの制御はグループ別、あるいは2グループ同時の一斉または一斉緊急放送に限られる。グループ分けは回線1~5と6~10に固定。 ③ 一斉スイッチは一斉緊急動作に変更可能。 上記機能は、ダイオードマトリクス回路へダイオード追加により可能。
使用温度範囲	-10℃~+50℃
外装	パネル 鋼板 塗装仕上げ マンセルN4.5近似色 グレー ケース メッキ鋼板
寸法	幅 480mm 高さ43mm 奥行331mm (EIAサイズ 1U)
質量	約4kg
付属品	M5×9 ねじ 2、M5×10 セムスボルト 4、機器受金具 2、取扱説明書 (保証書付) 1
出荷時設定	(ダイオードマトリクス回路) ・一斉スイッチ 一斉放送 ・チャ임制御 (CH) TB-1 1A 一斉放送 (AUユニット 使用中:A点灯) ・外部制御 TB-1 1B 一斉放送 (フェーダー制御C 使用中:B点灯) ・外部制御 TB-1 1C 一斉放送 (フェーダー制御B・C 使用中:C点灯) ・外部制御 TB-1 2A 一斉放送 ・外部制御 TB-1 2B 一斉緊急放送 ・電源起動入力1 (Rp) TB-1 3A 電源起動

外観寸法図

(単位 mm)



サポートのご案内

■ 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談・ご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

販売店に修理を依頼する場合は、下記の項目をお確かめください。

①品名 ②品番 ③お買い上げ日 ④故障の状況（できるだけ具体的にお願いします）

■ 販売店がご不明な場合は、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

営業所情報はホームページ
もしくはQRコードにアクセス
してください。
<http://www.unipex.co.jp>



■ その他ご不明な点は、お客様ご相談センターへご相談ください。

UNI-PEX 0120-56-5245 （通話料無料）
お客様ご相談センター 受付時間／9:00～17:00（土・日・祝日除く）

PHS・携帯電話からのご利用は、
072-855-3334（通話料がかかります）

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様ご相談センターにおけるお客様の個人情報は、
ご相談対応、修理およびその確認に使用いたします。
個人情報は適切に管理し、正当な理由がある場合を
除き、第三者に提供または開示いたしません。

D型スピーカースイッチユニット RIS-D101

保証書

製造番号	
保証期間	お買い上げ日 年 月 日より 電子回路部1ヶ年、ケース(外装部) 6ヶ月
お客様	お名前 見本 様 ご住所 〒 電話() -
販売店	店名・住所 電話() - 印

保証規定

この保証書は日本国内においてのみ有効です。この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
(This warranty is valid only in Japan)

無料修理保証の範囲

- ①保証期間内において、取扱説明書などに従った正常な使用状態において故障した場合に無料で修理いたします。
- ②修理の際は必ず保証書の提示があること。
- ③当保証書の所定項目に必要な事項が記入され、故意に字句を訂正していないこと。

無料修理保証の免責範囲

- (次のような場合は保証期間内でも有料修理となります。)
- ①使用上の誤り及びお取扱いの乱用などによる故障、磨耗。
 - ②不当な修理改造による故障、損傷。
 - ③正常なご使用でも、消耗部品の自然消耗、磨耗、劣化によるもの。
 - ④お買い上げ後の落下、傷など、お取り扱い上起因するもの。
 - ⑤火災、水害、落雷、地震、その他の天災によるもの。また塩害、有毒ガス、異常電圧などが原因の損傷。
 - ⑥故障の原因が本製品以外の機器の影響によるもの。
 - ⑦常識的に正常な動作状態であるにもかかわらず、修理または部品交換などの要求をされる場合。

本書は本書記載内容で無料修理を行なうことを保証するものです。
お買い上げの日から上記期間内に故障が発生した場合は本書を提示のうえ、
お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

製造元 **日本電音株式会社**

発売元 **ユニペックス株式会社**

〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3-6 TEL.(072)855-3334(代)